



NIITSU Station

ホット
にいつホットステーション

2008. 1 vol.682

発行所 新津商工会議所
〒956-0864 新潟県新潟市秋葉区新津本町3丁目1番7号
TEL 0250(22)0121 FAX 0250(25)2332
Email: n-cci@fsinet.or.jp
URL http://www.niitsu.or.jp/
編集発行人 里村 進 毎月1回発行



県立植物園で開催された「にいつ食の陣(当日座)」の様

「街なかガーデニング事業」の作業

大橋通り商店街から新津駅方面の町並みをのぞむ。平成20年度も商店街活性化のため「街なかガーデニング事業」と「にいつ食の陣」を実施予定。



新年のごあいさつ

新津商工会議所会頭

馬場 欣一

新年明けましておめでとうございませう。平成二十年の年頭に当たり、「今年こそは災害のない平和で幸せな一年」となります様に心から祈りたいと思います。

会員の皆様には、日頃、当商工会議所に多大なるご支援とご協力を頂き厚くお礼を申し上げます。今年も何卒よろしくお願い申し上げます。

福みますと、昨年は、国民の安全・安心が改めて問われるとともに、社会面や政治面で、混乱・混迷を生じた一年でありました。

まず、自然災害が多発しました。なかでも、三月に発生した石川県能登半島地震と、七月の新潟県中越沖地震はそれぞれの地域において広範囲にわたり大きな被害を与えました。特に中越沖地震は、四年前の十月に発生した中越地震の復興がようやく一段落したところに、また中越地方に大きな地震が来たことは大きなショックでした。今回の地震は東京電力柏崎刈羽原子力発電所の被害が大きく、原発がらみの風評被害も重なり、地震に無関係の佐渡や村上などで観光客の減少を来すなど大きな影響を与えました。

政治問題では、夏の参議院議員の選挙での自民党の大敗の責任をとるかたちで、九月に安倍内閣が突然退任し、福田内閣が誕生したことは驚きでありました。野党民主党の勢力が優位の参議院と、自民党優勢の衆議院との関係が生じ、ネジレ国会の実現で政治の混乱に拍車をかけています。このことが、政治だけでなく、経済や国民生活に支障を来さないか心配です。

社会問題も、官民の不正や不祥事の続発が大きな話題になりました。社会保険庁の年金記録漏れや、厚生労働省の薬害対応などにみる官の隠蔽・無責任体質はあきれるばかりです。また、民間の老舗のモラルの欠如、儲け第一主義による偽装表示問題なども、以前には考えられないことでした。商道徳は無くなったのでしょうか。

さて、日本経済については、経済のグローバル化に伴う企業の輸出や設備投資活動の活性化により景気は回復・拡大路線を辿っておりますが、しかしその基調も昨年後半には、原油・原材料価格の急騰やサブプライムローンに端を発する米国経済の停滞懸念などもあり、先行きについては不透明感が増しております。しかも、景気拡大の恩恵は東京、名古屋などの大都市や大企業を中心に限定されており、地方や中小企業では景気拡大の認識は乏しいままです。

人と富の集中で繁栄する大都市と若者の流出による人口減少や高齢化で衰退する地方市町村の格差が益々拡大し、政治問題にもなっています。福田内閣には、年金問題だけでなく、格差の是正を図り、地方や中小企業への好景気の波及などの経済政策もしっかりとやって頂きたいものです。

新潟県の経済は、地域間のバラツキはあるものの全国水準並みに推移しておりますが、公共投資の減少

や七月に発生した中越沖地震の影響も重なり、回復傾向に一服感も見られます。加えて原油高の影響が広がっており、中小企業の景況感悪化しています。

新潟地域の経済については、中央や県内の有力産地等の好況感とはほど遠く、依然として厳しさが続いています。主要産業がなく、建設業や商業・サービス業などに依存している割合が高いために、不況感すら感じています。当地域の企業でも、売上高や採算、資金繰りが悪化している先が多く認められます。

商店街でも、大型店との競合が一層激化しているほか、亀田、旧新潟市の大形店やデパートへのショッピング流しも激しく、衰退化が顕著で先行きは非常に厳しい状況にあります。昨年十月二十六日に開店した亀田のイオン南ショッピングセンターの影響も懸念されます。

こうした厳しい経済状況の中で、会員のために金融、経営、税務等の相談に積極的に応じておりますほか、経営に役立つ講演会や研修会の開催に努めております。また、当会議所の看板の一つであるIT化事業もスタッフをそろえて継続実施しております。

また、地域や商店街の活性化を図るために、色々な事業を展開しております。昨年五月から六月にかけて実施しました「街なかガーデニング事業」と「食と花の世界フォーラム・in にいつ」に合わせて計画・実施した「にいつ食の陣」は、「経済活性化委員会」で検討されたものです。お陰様で二つの事業とも大成功を納め、「新潟の食と花」を内外に大いに宣伝することが出来ました。これらの事業は、平成二十年も引き続き実施することとしています。

また、新潟薬科大学との連携をより一層図るために、「産学官連携協議会」を立ち上げ、新潟の食材を使った新商品の開発を行っております。また、「新潟の花事業の振興・拡大」を図るために、「地域ブランド創出事業(JAPANブランド育成支援事業)」にも取り組んでおります。

ご承知の通り、昨年四月に新潟市は八つの区からなる政令指定都市になりましたが、秋葉区は経済面から見ると、政令市効果は具体的に見えておりません。私共も積極的に「まちづくり」や「街おこし」に関与し、会員、地域住民からも「政令市になって活気が出てきた」と思ってもらえるような効果的な事業やイベントを行政と連携・協力してやっていかなければならないと考えております。

これからも、当会議所は、地域総合経済団体として、会員の支援と地域の発展のために努力して参りますので、今後とも皆様方の一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

皆様方には、今年一年が益々充実した年となりますようにご期待申し上げるとともに、ご健勝、ご多幸をお祈り申し上げて年頭のご挨拶といたします。